

# 匝瑳市消防団中央分団役員会議

平成29年8月23日（水）  
午後7時55分集合～2部管轄（砂原会館）  
分団長 那智博行  
副分団長 室生述成  
副分団長 鶴野博之

## 1 開 会

## 2 分団長 挨拶

## 3 議 事

- (1) 消防定例表彰について
- (2) 九都県市合同防災訓練参加について
- (3) 消防施設要望調査について
- (4) 実戦操法訓練について
- (5) その他  
9月の合同手入れについて  
次回の部長・班長会議の開催について

## 4 閉 会

(議題1) 消防定例表彰について (那智分団長)

内定

	千葉県知事表彰 精勤章	副分団長	鶴野 博之
	千葉県消防協会長表彰 功労章	副分団長	室生 述成
	千葉県消防協会長表彰 精勤章	中央5部	布施 光浩
	防災危機管理部長表彰	中央1部	小林 慶充
	匝瑳市消防団長表彰 (千葉県大会出場部表彰)	中央4部	団体

消防定例表彰 選出基準について

■千葉県消防協会海匝支部長表彰■

功労章 永年にわたり勤務に精励し、技能熟達かつ平素よく率先垂範して消防の使命達成に尽力し、その功績は顕著である者。ただし、勤続年数は原則として5年以上とする。

精勤章 消防の使命達成に尽力し、成績優秀な者で、勤続年数は5年以上とする。

■匝瑳市長表彰■

功労章 4年以上勤続(H30年3月31日現在)し、及びその任務遂行にあたって、その功労が抜群である者。

■匝瑳市消防団長表彰■

功労章 2年以上勤続(H30年3月31日現在)し、及び消防団員として成績優秀な者。

部推薦団員

		階級	氏名
2名	千葉県消防協会 海匝支部長表彰 功労章		
3名	千葉県消防協会 海匝支部長表彰 精勤章		
1名	匝瑳市長表彰 功労章		
2名	匝瑳市消防団長表彰 功労章		

退団予定者

1	
2	
3	

各表彰候補には「自薦・他薦」受け付けます。(最終選考は分団役員)「お任せ」でも構いません。  
また、29年度で退団予定の団員も合わせてご連絡下さい。

届出×切 9月10日(日)までにメールでお願いします。回答なしは「お任せ」と判断させていただきます。

(議題2) 九都県市合同防災訓練 (自主防災組織育成型訓練) について (鶴野副分団長)  
別紙記載

(議題3) 消防施設要望調査について (室生副分団長)  
消防施設の修理・改善・撤去の依頼

	場 所	要 望 理 由	概算 経費
防火水槽有蓋化			
不用消防施設撤去			
ホース乾燥塔新設			
高額な修繕 10万円以上の修繕			

※ ホース乾燥塔の劣化に注意 (滑車・ひもの劣化)

※ 管轄地区の確認をお願い致します。

依頼届の×切 9月10日(日)までに「メール」でお願いします。

(議題4) 実戦操法訓練の実施について (那智分団長)

【1.日 時】 平成 29 年 11 月 5 日 (日) 午前 8 時 00 分集合 8 時 30 分開始<雨天決行>

【2.会 場】 匝瑳市役所北側駐車場

【3.出場部隊】 匝瑳市消防団前 41 部隊  
ポンプ車部隊 10 隊 水槽付積載車部隊 12 隊 積載車部隊 19 隊

【4.活動規範】

安全確認呼唱及び換呼応答

- ・乗車時のドア開放及び閉鎖にあたり、前後の安全確認と呼唱を行う。
- ・乗車した各隊員の確認呼唱「よし」を行う。
- ・下車時のドア開放及び閉鎖にあたっては前後の安全確認と呼唱を行う。
- ・各種動作について、共同動作は相互に伝令の復唱や「よし」の換呼応答を行い、個人動作にあっては「結合よし」「投入よし」「吸口→放口→圧力 3 キロよし」の安全確認呼称を行う。

行動の基本的事項

- ・安全を確保するとともに迅速かつ確実に行う。
- ・行動動作は駆け足とし、動作、操作の区切りは節度よく行う。
- ・使用機材の機具愛護に務め、その用途に適した利用を図る。
- ・指揮者及び隊員は相互に緊密な連携を保ち、一体性のある行動動作を行う。  
(本訓練では無線機は使用しないものとし、遠距離の情報伝達も全て隊員の伝令で行う。)
- ・各行動の姿勢は自然なかたちとし、合理性かつ安全性のあることを念頭に置いた実践的な要領でよい。
- ・操作の誤りは手違いについては、気が付き次第直ちに修正すること。  
内容によっては事故を誘発するので十分注意すること。
- ・消防において常用される手信号は必ず使用する事。但し夜間想定上、視認距離は 5m以内とする。

#### 操作開始からの標的倒状までの所要時間

ポンプ車	の部	65秒	署員の「操作開始～標的倒し」(放水開始までの概ね60秒/同時2線放水)
水槽付積載車	の部	65秒	// (放水開始までの概ね60秒/同時2線放水)
積載車	の部	50秒	// (放水開始までの概ね45秒)

#### 隊員及び車両の装備

- ・隊員は指揮者以下総員5名 原則として防火ヘルメット・アルミクス・銀長・手袋を着用すること。防火ヘルメットのホックは指揮者以外の隊員は留めること。機関員は白ヘルメット・長靴・手袋で行う。
- ・装備品は平常時の装備とする。車両及びポンプ、必要資機材の積載状況は確認しておくこと。

#### 操法の細目事項

- ・指揮者は操法準備完了後「〇〇分団第〇部 実戦操法準備完了しました。」と分団長に報告する。
- ・水利部署はポンプ車及び水槽付積載車は水利の左側、積載車のA・Cコースは右側、B・Dは左側
- ・ポンプ車及び水槽付積載車にあっては左右いずれの吸管を使用する。藤力ゴが付いていること。
- ・控え綱は水槽の枠に結着し、吸管枕木は必ず使用すること。
- ・ホースは65mmを指定本数使用し、折り畳み・二重巻・背負い器のいずれでもよいが、平常時に実際に装備されている要領であること。なお使用放口も自由とする。
- ・筒先は65mm噴霧ノズル付を使用する。尚、筒先の結合は原則第2結合部以降で行う。
- ・伝令の伝達事項は「放水始め」「放水止め」及びその他必要事項とする。
- ・ポンプの圧力は常に4キロ(0.4メガパスカル)以下とする。
- ・それぞれの標的を倒状させた後、係員の「放水停止」の合図により、指揮者は「放水止め」を指示伝令員は水利部署へ伝令を開始する。放水員はノズル操作により水損防止を図る。
- ・指揮者の「収め」によりホース移動団員は、ホースの連結を離脱することなく中央部分を持ち上げ火点側・水利側のコース外へ排水、排水後のホース移動は絶対に引きずらないこと。
- ・指揮者は「〇〇分団第〇部 実戦操法終了しました。」と分団長に終了報告する。

#### 効果測定

- ・所要タイムを評価点とし、危険性の高い操作行動(衝突・転倒・負傷・高圧放水・機具破損)や不確実な操作行動(落水・放水開始後のエンスト・3回以上のエンジン始動等)1件に着き3点を加点、敏しょう性、士気、安全性の総合審査を各6段階評価に分けて加点し総合評価する。  
総合評価点(点) = 所要タイム(秒) + {不適正操作行動件数×3(点)} + 総合審査点  
尚、操作行動及び総合審査の評価はタイム計測中とする。
- ・総合評価点の少ない部隊を優秀とし、3分以上のエンジン始動不能又は吸水不能、機具の故障や隊員の負傷による訓練続行不可能の場合及び見込み送水は失格とする。

#### 【5.運営補助団員】

Cコースのタイム 中央6部(1名) 9月10日(日)までにご連絡下さい。

#### 【6.出場順位】

ポンプ車	1部10番(6部)	2部1番(4部)	3部8番(2部)	4部7番(5部)	6部5番(1部)
積載車	5部1番(3部)				

(幹部役員会議の抽選にて決定。尚( )内の部名表示はホース撤収補助部です。)

#### ※ホース排水・撤収の注意

指揮者の「収め」にて、第2ホース中央より火点側・水利側に完全排水した後、離脱すること。移動の際は、絶対にホースを引きずらないこと。

#### 【7.実戦操法訓練会場図】 最終ページに掲載

(議題5) その他について

■9月の自主手入れと合同手入れについて (鶴野副分団長)

自主手入れは各部で行って下さい。

※消火栓を使用する場合は、担当分団役員or塚本消防主任へ事前連絡すること。

また、点検後の報告は鶴野副分までお願いします。

合同手入れ 開催日時 \_\_\_\_\_

訓練内容については後日送信します。

■中央地区(管轄地区)防災訓練について(未確認) (鶴野副分団長)

各町内において参加協力依頼を受けましたら各部にて判断し対応して下さい。

尚、消防車両にて訓練参加の依頼を受けた際には交通ルールに従い活動して下さい。

※参加協力を受けましたらご報告をお願いします。

■今後の消防関係いろいろな行事 開催日程 (那智分団長)

- ・第23回全国女性消防操法大会 9月30日(土)秋田県 こまちスタジアム 柏市女性消防団
- ・危機管理産業展2017 10月11日(水)~13日(金)東京ビックサイト

■次回の「部長・班長会議」 12月6日(水)20時~ 2部管轄 \_\_\_\_\_にて行います。

【7.実戦操法訓練 会場図】

